

園長だより



ちゅうぶっ子

令和7年7月号

発行 者

出雲市立中部幼稚園

園長 高橋 均

今年は例年よりも早く梅雨が明け、連日暑い日が続いています。7月に入ると園庭に設置したプールでの水遊びが始まり、子どもたちは毎日ワーワーと歓声を上げながら、水の感触を楽しんでいます。



さて、新しく10名の入園児を迎えてスタートした今年度の中中部幼稚園。楽しく充実して過ごした1学期も、あと1週間ほどで終わります。始めの頃はおうちの人と別れるのがいやで泣いていた年少の子どもたちも、今ではみんなたくましくなりました。また、年中・年長の子も、学年が一つ上になって、どの子もお兄さん・お姉さんらしくなってきました。このような成長した姿が見られるようになったのも、ご家族や地域の皆様に、いつも温かく園の活動を見守り、支えていただいたおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

7月18日（金）に1学期終業式が終わると、9月1日（月）の2学期始業式まで44日間の長い夏休みとなります。この期間にご家庭や地域で過ごすことが増えますが、子どもたちが交通事故や水難事故、連れ去り事件等に遭うことなく、元気に有意義な夏休みを過ごせますよう、引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。

いい香り！ おいしい笹巻ができました！！

Fizemos o delicioso bolinho de sassá



6月3日（火）に全園児で中部幼稚園恒例の笹巻作りに挑戦しました。笹巻は「ちまき」とも呼ばれ、昔から出雲地方でこの時季に作られてきた豊かな食文化の一つです。しかし、今ではだんだんと笹巻を作る家庭が減ってきています。そこで、伝統的な食文化を途絶えさせないようにと、中部幼稚園では毎年全園児で笹巻作りに取り組んでいます。団子をこねて丸め、笹の葉で包んだ笹巻を茹でていただきます。笹を巻

くのは、子どもたちにとっては難しいので、職員が膝に乗せ、手を添えて完成させました。今年の笹の葉は香りが高く、昔ながらの美味しい笹巻ができたので、おかわりをする子もたくさんいました。嗅覚にまつわる記憶はいつまでも残るといいます。この子たちが大きくなっても、この笹巻の味をいい香りとともに覚えていてくれるようお願いしています。

家族製作～竹を使った遊び道具を作りました～ Montamos um brinquedo de bambu com a família

6月13日（金）に、竹を材料にした製作活動におうちの人と一緒に取り組みました。年少は竹ぼっくり、年中は虫取り網、年長は竹馬作りにそれぞれ挑戦しました。普段、おうちの人と一緒に遊び道具を作る機会はありませんで、この日はどの子もとても嬉しそうでした。どんなふうにしたいか会話を交わしながら、力を合わせて作業を進め、すてきな作品を完成させることができました。早速、おうちの人に支えてもらいながら乗ってみたり、外へ出て虫を捕まえたりする姿も見られ、どのクラスも笑顔であふれていました。やはり、一緒に何かを作りあげる活動は達成感もあり、喜びも大きいものですね。これから大事に使っていきたいと思います。



☆今学期、地域の皆様から、たくさんのご寄贈をいただきました。

- ・久木地区社会福祉協議会様より金一封
- ・直江・久木地区事業所会様よりビニールシート4枚（災害時用）
- ・久木地区民生委員会・児童委員会様より紙飛行機作り用紙並びに作成指導

*子どもたちのために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

